

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukuseru? TIMES 10

平成23年3月5日発行

発刊元：かわかみなと（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

卒塾号

祝！ご卒塾

「だがしや」と「語りあい」の経験を、次の一步に…

2月25日
昼コース

22年度の大人塾昼コースの一年が、本日をもって終わりを告げ、この新聞も最終号となる。作成にあたって、写真や絵をたくさん入れた華やかな号にしたいと思ったが…やめた。最終回にみんなが語り合った「自分自身への未来提案」、その言葉1つ1つが本当にすばしかった。だから、その言葉のいくつかをここで再度に共有し語り合いの価値を伝えたい。

子連れで参加していたが、異世代の方々と交流ができたこと。その心地よさに触れ、それを知れたことがよかった。

一昨年まで仕事をしていたが退職し、時間ができた。地域のコミュニティに関心があり参加。ここに来て、塾生の方が近所に住んでいたりと、道端であって会話をした。こういうのが、コミュニティの一步になるのかなと感じた。

サラリーマン生活から脱しきれない自分がある。いまだに自分がどこに身をおくのかということとは分からない。それでも、もしこのメンバーの中で何か新しいことがはじまるのであれば、関わっていきたい。

だがしや楽校の「自分みせ」が、絵本をつくるきっかけとなった。書いていて、すごく楽しく無理なく書けた。これから、いろんな世代の方がホッとした気持ちになるような絵をちょこちょこ書けたらいい。

自分ががむしゃらに何かやっていると自分の考えだけで完結してしまう。ここで考え方が広がったように思う。

いろんな方と出会うなかで、自分が病気を持っていてでもできることがあるかなと前向きになり、体調を予定にあわせて管理できるようになった。ちょっとした何か私にもできるし、自分自身で行動したことが、自分の喜びや幸せにつながる。ここに来て気づいた。

自分を「みせ」ということができたような気がする。また何年ものお付き合いができるような友人ができた。

義務教育、進学、就職…団塊の世代に生きた自分は非常に少ない選択肢の中で過ごしてきた。会社から離れたこれから、自分の血が騒ぐようなもの、自分なりの感動を探して、いろんな世界を覗いていきたい。

「自分みせ」をきっかけに、自分で「もの作り」をして、相手に見せて、笑顔をもらって。それが自分の宝物、どんな薬より効く良薬！

60歳になる前に仕事をやめた。バラ色かと思っていたら、なんにもできなくて…かたっぱしから講座や教室に参加した。その中で少しずつ自分で何かをはじめていけたらと思う。何もできない自分だけれど、ここですばらしい人たちに出会えた。

この場がなんだったのか。私は自分を見つける場だなと。いろんな価値観、考え方の違いに触れ、自分をもう1度リセットして、地域の中の一人の人間として生きていく、そのための時間・機会だった。「MUST」ではなく、好きなことをやる。もう一度そんな思いに立ち返って…自分が一番求めているものは何なのか、会社とか家庭とかに縛られない、フリーダムな自分として生きていきたい。

卒塾に向けて

祝辞

松田道雄さんより

昼コース「だがしや楽校を開こう」ご卒業おめでとうございます。変なタイトルの変な講座にご参加いただき、ありがとうございました。皆様お一人お一人の持ち味が合わさってこの講座の内容になることができました。

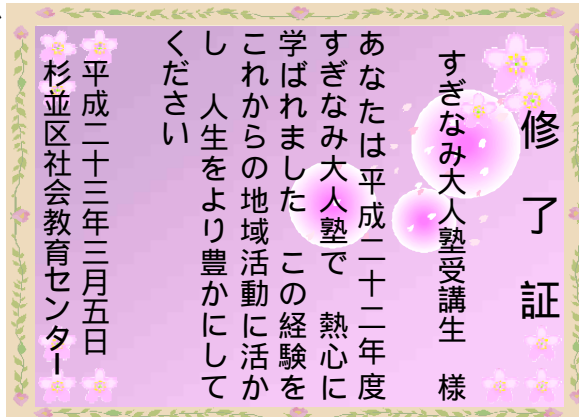
組織の一員ではなく、一人の自分がどのように人と関わることができるのか、ということは簡単なようで最もむずかしい人間社会の「問い」なのかもしれません。

これからどんどん杉並区内で実践してくださることをご期待申し上げます。

谷原博子さんより

ファッションで自分を表現したり、歌やパフォーマンスで自分を発信できる世代を横目に歳を重ねると自分らしさの表現アイテムが指の間からポロポロこぼれ落ちていく気がしてきます。ところが、講座に参加している皆さんの姿

から多くの表現方法を学ばせていただきました。何も、特技や話述に限らず「あんな大人になりたいなあ」と思わせてくれる瞬間に何度も出会いました。大人が大人の姿から学ぶ意味がそこにはあり、私自身を成長させてくれました。受講生の皆さんに心から感謝申し上げます。そして、卒塾おめでとうございます。



2月16日
夜コース

自分たちの思いを伝えよう！ 個人活動テーマプレゼンテーション

今回はよいよ最終回。それぞれ個人のテーマをプレゼンテーションシートに書き込み、発表を行う。1年間の思いと学びの成果、そして将来への自分の目標が書かれたシートが23組集まった。終了後に投票を行い、合同成果発表会において発表する3名を決定するのである。

これからもがんばって！と応援したい人には、杉並の野菜に対して熱い思いと具体的な支援を語った大岩さん。また、なるほど！と共感した賞は「ランドシェア」をキーワードにさまざまな人と資源をつなぐNPO立ち上げを掲げた小林さんが受賞。ユニークだが、大人塾があって本当によかったね！と感動をくれた人への賞は、「大人塾に参加して、人生の大きな決心がついた」という尾平さんへ。決して順位をつけるものでなく、受講生の想いの集大成とあっていいであろう。印象的であったのは、ほとんどの人が、ワークショップの実践と関連させて、仲間と力を合わせることの重要性、実践活動から得るものの大きさをあげており、「まずは動いてみる」の大切さを学びの成果としてあげていたことである。これは今年度の「初めてのソーシャルアクション」のテーマに対して、受講生の皆さんが何か答えをみつけられたということではないだろうか。広石さんからの「自らの判断と責任に基づいた、横のネットワークや個人と個人のつながりを大切にしながら、より大きなつながりを考えていってほしい」という締めメッセージを胸に刻んで、これからを歩んでいっていただきたい。

1年間ありがとうございました。卒業おめでとうございます！（記事：湊）

プレゼンテーション各賞受賞者

がんばってね賞 大岩 高

「地域の人々が運営する『すぎなみ野菜づくり支援センター』を設立する！」

<次点> 岩崎さん、清水さん、古川さん

大人塾に来てよかったね賞 尾平 継美

「田舎にもどって二度生まれの私を生きる」

<次点> 藤田さん

共感賞 小林 一郎

「『共同XXX』『シェアXXX』NPO立ち上げに向け、活動開始。仲間づくり！」

<次点> 多田さん

事務局特別賞

皆勤賞：清水さん

つながり仕掛け人賞（ダジャレ賞）：植田さん



熱く発表して賞を獲得した3名の方。左から尾平さん、大岩さん、小林さん



卒業に向けて

広石拓司さんより

地域や社会は、構成員である自分たち自身が動かないと変化は生じません。だから、今年の大人塾は、地域活動の利用者から「主宰者」に変わる第一歩としてワーク

ショップ実践を体験していただきました。自分で企画し、やってみると、地域や社会の見方や関わり方が少しずつ変わっていくと思います。これから、みなさんが、どんな素敵な活動を生み出していくのか、とっても楽しみにしています！

1年間、ありがとうございました！！

祝辞



手塚佳代子さんより

大人塾ご卒業おめでとうございます。新しい出会いとセッション、そして実践的な活動の中で、皆様がパワーアップする様子を目の当たりにし、とても感動していま

す。誰にも気づかれなかったかなと思います。実は私も皆様と接する中で刺激をうけ少し成長したと思います。皆様の新鮮で豊かな発想や着眼、想いの熱さ。地域活動を何年かしていると、つい忘れがちなものが蘇る想いでした。これからもまた皆様と一緒に活動できる機会を楽しみにしております。

